



水筒、やかんなど 金属製の容器の使用法に ご注意を！



酸性の飲み物による金属溶出に伴う中毒にご注意！

夏場は冷たい飲み物を飲みたくなります。

水筒に冷たい飲み物をもって出かけることや、スポーツ飲料を「やかん」などでたくさんつくることがあるかもしれません。

金属製の容器の使い方を誤ると、飲み物でも食中毒が起きることがあることをご存知ですか？

普段の水筒・やかん等の使い方が大丈夫か、確認してみましょう。



! 注意1

容器の内側にサビやキズが無いか確認しましょう

サビや傷があると、そこから金属成分が溶け出すことがあります。使う前にはよく確認しましょう。

! 注意2

金属製の容器に、酸性の飲み物を長時間保管しない

乳酸菌飲料などの酸性の飲み物を金属製の容器に入れると、飲み物中に金属が溶け出すことがあります。長時間の保管は避けましょう。いつもと違う味がする・色が変わっている場合は、飲まないようにしましょう。（※酸性の飲み物について、裏面で説明しています）

! 注意3

古くなった容器は、定期的に新しいものに交換しましょう

古くなった容器は、劣化して内部が破損していることがあります。また、長期間繰り返しお茶などを沸かした「やかん」で乳酸菌飲料をつつたことによる、食中毒が発生しています。

! 注意4

食品や容器の表示・注意喚起を確認して使用しましょう

容器や飲み物の注意書きをよく確認し、長時間の保管は避けましょう。

酸性の飲み物とは

…主に炭酸飲料や乳酸菌飲料、果汁飲料、スポーツ飲料等です。

傷がある金属製容器(コーティングがはがれて金属が露出している容器等)に酸性の飲み物を入れると、容器に使用されている金属が飲み物中に過剰に溶け出し、中毒を起こす可能性があります。

金属性容器の使い方を確認しましょう



実際に起きた食中毒事例①

- 水筒に入れたスポーツ飲料を飲んだ児童が、苦みを感じ、頭痛・めまい・吐気などを発症。
- 残品のスポーツ飲料は本来乳白色のところ、青緑色に変化しており、検査の結果、高濃度の銅が検出。
- 児童が使用していた水筒は内部が破損しており、飲み物を入れた状態で長時間置いたことにより、通常は飲み物が直接触れない保温構造部分の内部まで飲み物が染み込んでしまった。
- さらに、スポーツ飲料が「酸性」であったため、水筒の保温構造内部に使用されていた「銅」が溶け出したことが原因と考えられた。

実際に起きた食中毒事例②

- 古いアルミ製「やかん」でつくった乳酸菌飲料を飲んだ保育園児15名が吐気、嘔吐を発症。
- 保健所が調べたところ、飲み残しの乳酸菌飲料から、高濃度の「銅」が検出された。
- 「やかん」は内側が黒く変色・一部が腐食しており、「やかん」の変色部分からも銅が検出された。
- 長期間アルミニウム製やかんでお湯を繰り返し沸かしたことにより、水道水に微量に含まれる銅が「やかん」内側に大量に付着・蓄積し、そこに酸性の乳酸菌飲料を入れることで飲み物中に銅が溶け出した。